

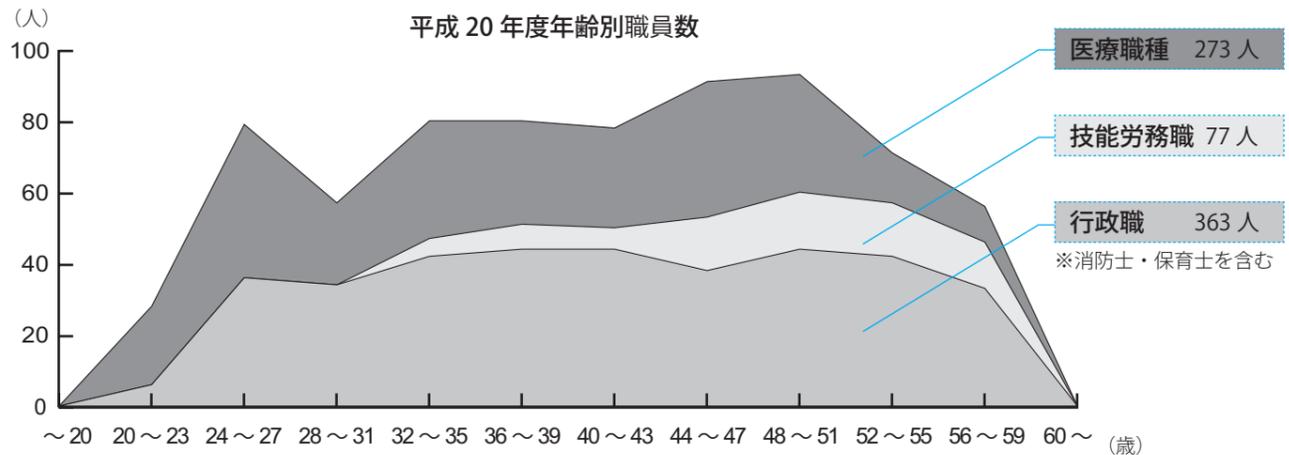
シリーズ加西の論点⑤ 公共サービスは誰が担うものか

市の現状・課題・方策を示すシリーズ「加西の論点」。今回は、アウトソーシング（民間委託）についてご報告します。市民のための公共サービスは、これまでは全て行政が行うものと考えられてきました。しかし、最近では介護・福祉サービスなど、これまで行政の領域と考えられてきた多くの分野で、民間企業やNPOなど多様な事業主体が公共サービスの担い手となっています。

市役所の仕事のあり方を見直し、すべてのサービスを行政が独占するのではなく、多様な担い手との連携・協力によって、質の高いサービスをより効率的に提供できるよう自治体経営を革新していきます。

■加西市の職員構成

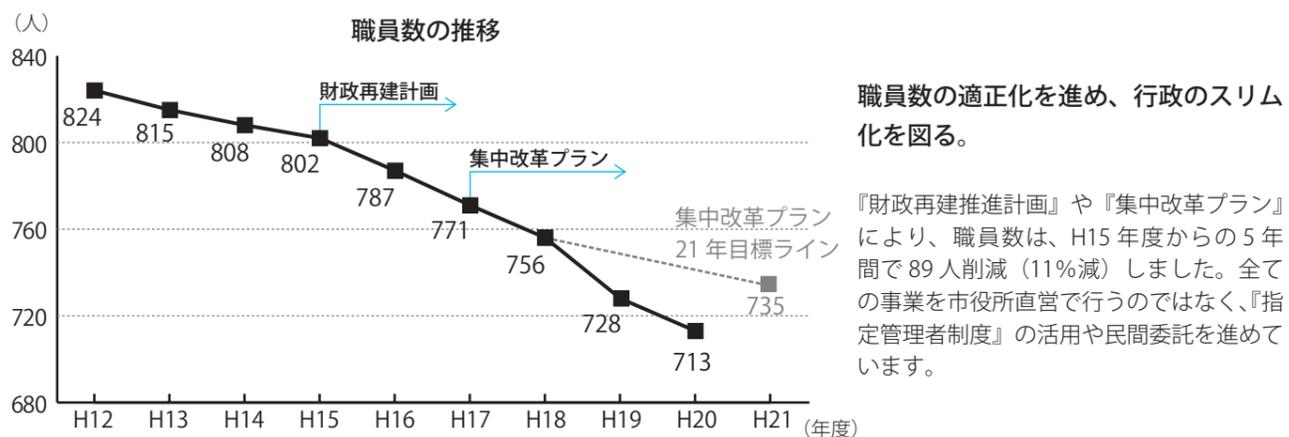
平成20年4月1日現在の職員総数は1,097人、その内、正規職員は713人、病院に所属する職員は正規職員全体の38%を占めます。正規職員数を年齢別でみると下記のとおりです。



技能労務職（現業職員）は近年新規採用をしていません。平成19年からは行政職への職種変更も進めているため、40代以降の比率が高く、医療職種である看護師では30歳前後で落ち込むM字カーブの傾向が見られます。団塊世代の退職によって、行政職は比較的フラットな構成になっています。

■定員管理の適正化

平成17年度に今後5年間で職員実数を4.7%削減する集中改革プランを発表しました。業務の民間委託や退職者不補充等によって、平成20年度に目標を上回る7.5%の削減を前倒しで達成しました。



職員数の適正化を進め、行政のスリム化を図る。

『財政再建推進計画』や『集中改革プラン』により、職員数は、H15年度からの5年間で89人削減（11%減）しました。全ての事業を市役所直営で行うのではなく、『指定管理者制度』の活用や民間委託を進めています。

老人医療や福祉、税などの度重なる制度改正への対応、変化し多様化する市民ニーズに応えるための行政サービスの複雑化・高度化など、行政の業務量は年々増加傾向にあります。

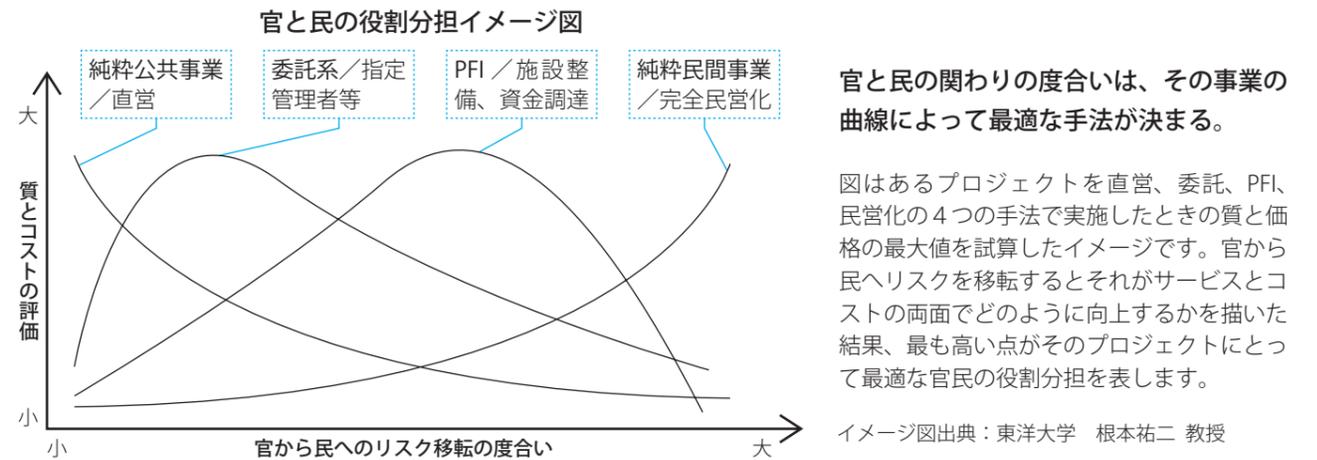
しかし、今後、これ以上、行政サービスが増えたとしても、従来のようにフルラインで職員が張り付き、欠員補充されることはありません。そこで民間事業者へ、業務を委託すること等によって、職員は単純労務から開放された時間を利用し、専門性の高い業務に専念することなど、公民連携による民間委託を検討する必要性が高まっています。

■公民連携によるアウトソーシング

事業の棚卸しや仕分けによって、委託可能なものからアウトソーシング（民間委託）しますが、行政の関与がなくなるものではなく、業務の監視やモニタリングによって、むしろ行政のコントロール機能を高めることとなります。

また、直営事業から、業務委託、所有・移転、施設整備、資金調達、民営化まで、その委ねる業務の幅は広く、選択肢も多様です。両者の果たすべき責任とリスクは双方の合意に基づいて明確に設計することが大前提となります。

良いサービスを提供するためには、官がいいのか、民がいいのかというサービスの提供主体を問うのではなく、どのような供給方法を採択すれば最適化するかを問うことが公民連携の考え方です。



■加西市の目指すアウトソーシング

加西市は組織や業務の実践方法の見直しを行い、行政の責任領域とその活動範囲を明確化するとともに、民間の資金力やノウハウの導入を図ることを検討しています。我孫子市や高浜市の事例について検討を行い導入を図ります。

■市民提案型アウトソーシング

千葉県我孫子市の提案型公共サービス民営化制度は、官と民を同じ土俵に上げて競争入札する市場化テスト方式に改良を加えて、これは官民協働で行うべきなので、その仕組みは一緒にやりましょうというアイデアを民間から提案できる制度です。加西市では昨年実施した事業仕分けの結果について民間事業者等から改善提案が出されることを期待しています。

■包括的業務のアウトソーシング

愛知県高浜市は、市役所の業務を包括的に受託する株式会社を全額出資で設立し、地方公務員法にとらわれない職員採用によって、役所のスリム化と地域雇用を創出しています。政策決定や公権力の行使に当たる業務以外は基本的に委託可能と考え、人材の育成と質の高いサービスを提供することで包括的な業務委託を可能にしています。

最後は職員の意識改革で、アウトソーシングそれ自体が目的化しないように、職員一人ひとりが、受け持つ業務のサービスレベルとそれに見合うコストを把握し、新たな市民のニーズがどこに生じているかをいち早く見極められるよう意識改革を進めていきます。

■加西市公民連携フォーラムを開催します。

加西市は昨年5月に東洋大学と包括協定を締結し、市役所の業務の民間委託や地域開発などについて共同研究を実施してきました。昨年7月の中間報告など計4回、のべ26人の実地調査を行い、今年2月に報告書が完成します。これを受けて、加西市でのフォーラムを開催し、市民の皆様へご報告します。ご参加をお待ちしております。

日時 2月21日（土）14:00～16:00
 場所 市民会館 大ホール
 内容 加西市の将来構想
 行政事務の包括委託
 上下水道事業・病院事業の経営改革
 資産売却と未利用資産の有効活用



昨年7月の中間報告の様子

【問合せ先】 経営戦略室 ☎428700